

第四次川越市総合計画
(基本構想、前期基本計画)



人がつながり、魅力があふれ、
だれもが住み続けたいまち 川越



川越市

総合計画はこんな計画です

総合計画は、市民と行政にとって、まちづくりを進める指針となるもので、目指すべき都市像を描き、その実現に向けた目標や必要な方策を定めたものです。

■計画の構成と期間

計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」から構成されます。

基本構想（平成 28～37 年度）

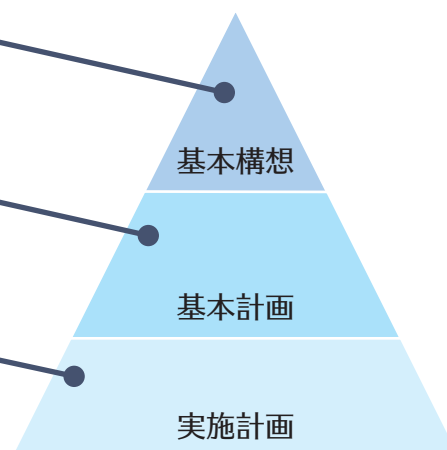
本市における総合的かつ計画的な行政の運営を図るために定める基本的な構想です。

基本計画（平成 28～32 年度）

基本構想を実現するための基本的な施策を体系的に示す計画です。

実施計画（3 年計画） 毎年度改定

基本計画に定めたそれぞれの施策の具体的な実施方法等を示す計画です。



川越の未来のまちをめざして

■基本構想の理念

基本構想の理念とは、基本構想を定めるに当たっての市民と行政のまちづくりに対する基本的な考え方を示したものです。

人と人とのつながりから広がるまちづくり

さまざまな主体との協働を進めるとともに、人と人、人と地域などの連携や協力によって、結びつきを広げながら、みんなでまちをつくります。

魅力を高め、活力を生み出すまちづくり

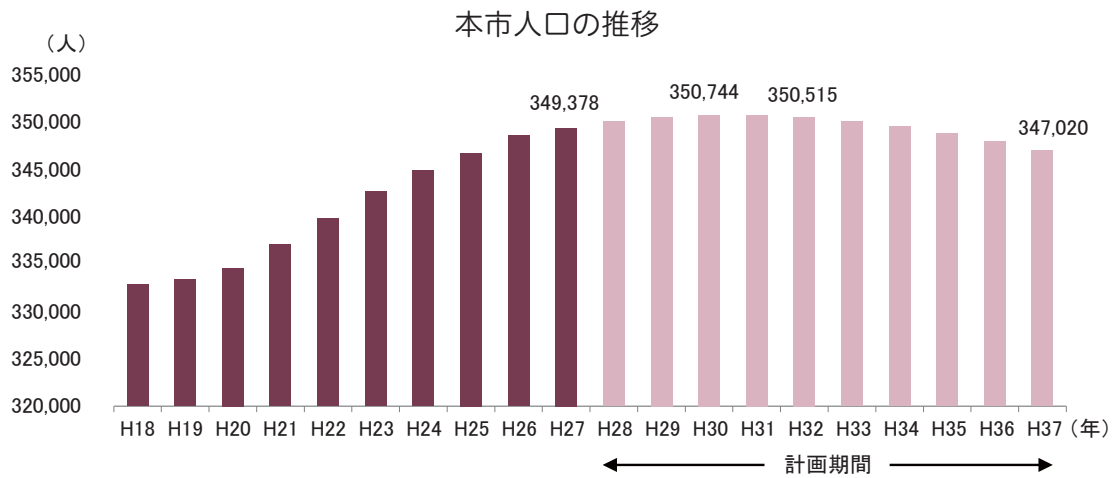
先人から受け継いだ歴史や文化、豊かな自然を大切にしながら、新たな価値を創造し、訪れたい、しごとをしたい、住み続けたいまちをつくります。

持続可能なまちづくり

人口減少や少子高齢化、社会資本の老朽化、環境問題などに対応しながら、未来に向けて、平和で安全に、安心して過ごせるまちをつくります。

今後の人口や財政の見通し

人口の見通し



年齢3区分別人口の推移

単位：人

	総人口	年少人口 (0～14歳)		生産年齢人口 (15～64歳)		高齢者人口			
						(65歳以上)		(うち75歳以上)	
		人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
平成23年	342,671	45,366	13.2%	226,202	66.0%	71,103	20.7%	27,565	8.0%
平成24年	344,900	45,381	13.2%	226,001	65.5%	73,518	21.3%	29,235	8.5%
平成25年	346,739	45,646	13.2%	223,626	64.5%	77,467	22.3%	31,053	9.0%
平成26年	348,595	45,810	13.1%	221,571	63.6%	81,214	23.3%	32,664	9.4%
平成27年	349,378	45,537	13.0%	219,062	62.7%	84,779	24.3%	34,538	9.9%
平成32年	350,515	43,702	12.5%	213,111	60.8%	93,702	26.7%	46,570	13.3%
平成37年	347,020	40,409	11.6%	210,929	60.8%	95,682	27.6%	56,892	16.4%

出典：川越市住民基本台帳（各年1月1日）
平成28年以降は市推計

財政の見通し

今後5年間の財政収支の試算（一般会計）

単位：百万円

		平成27年度 (当初予算)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
歳入	市税	55,421	55,262	55,298	54,435	54,452	54,481
	国・県支出金	23,144	22,567	24,561	24,219	24,679	25,424
	市債	10,908	9,345	12,761	10,382	8,526	9,250
	その他	20,957	17,690	18,094	18,903	18,822	18,741
	歳入合計	110,430	104,864	110,714	107,939	106,479	107,896
歳出	人件費	21,693	21,648	21,609	21,563	21,588	21,601
	扶助費	27,034	28,168	29,412	30,541	31,658	32,851
	公債費	9,212	9,554	10,523	11,053	11,546	12,093
	投資的経費	15,090	11,120	16,169	12,454	10,164	10,948
	物件費	16,133	15,780	15,933	15,933	15,933	15,933
	繰出金	12,790	12,930	13,255	13,604	14,042	14,447
	その他	8,478	7,895	7,922	7,980	8,124	8,085
	歳出合計	110,430	107,095	114,823	113,128	113,055	115,958
収支差額	0	△ 2,231	△ 4,109	△ 5,189	△ 6,576	△ 8,062	

出典：平成27年度川越市中期財政計画

将来のまちの姿

■将来都市像

人がつながり、魅力があふれ、
だれもが住み続けたいまち 川越

■将来人口

本市の人口は、平成37（2025）年に約34万7千人と推計していますが、「第四次川越市総合計画」の施策を確実に行うことにより、人口35万人を目指します。

■土地利用構想

基本的な考え方

土地は、全ての市民にとって限られた貴重な資源であり、生活を支え、社会経済活動等を展開する基盤となるものです。

このような認識のもと、自然環境の保全、育成等に努め、歴史や自然と調和のとれた魅力ある都市を目指します。

また、本格的な人口減少社会の到来、急速な高齢化の進行など、時代の潮流を的確に捉え、安全性、利便性、快適性、そして地域の特性を考慮し、総合的かつ計画的な土地利用を進めていきます。

特に土地の用途を転換する際には、自然や公共の福祉等に十分配慮し、全体として調和のとれた土地利用を図ります。

都市構造の構築

県南西部地域の拠点都市として、広域的に求心力のある、魅力にあふれ、活力に満ちた都市を目指します。

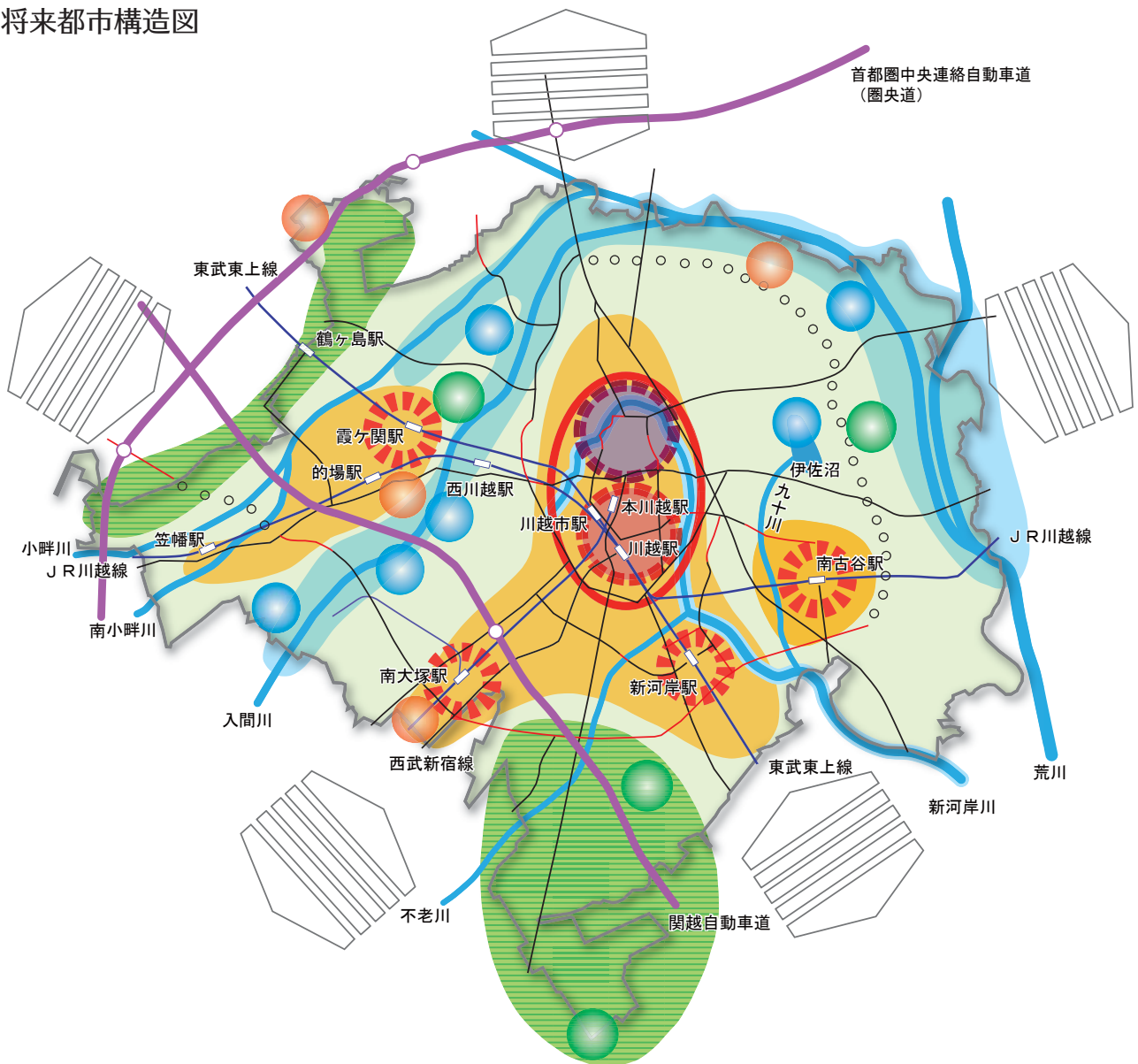
そのため、本市を取り巻くさまざまな課題に効率的かつ効果的に対応し、社会資本の有効活用を図りながら、都市機能の集約化とネットワーク化を促進することによって、誰もが自由、快適に移動できる質の高い都市として、持続可能な多極ネットワーク型の都市構造の構築を進めます。

土地利用の方向性

都市機能の集約化とネットワーク化を基本に「都市的土地利用」及び「自然環境的土地利用」により、総合的かつ計画的にまちづくりを進めます。

また、無秩序な開発を防止し、良好な生活環境の向上を図るための諸施策を実施することにより、適切な土地利用を推進します。

将来都市構造図



ネットワーク軸		凡	例
			高速道路・インターチェンジ
			鉄道・駅
			主要幹線道路
			(赤線は整備中または未整備の路線)
			主要幹線構想道路
			他都市との連携
			河川・沼

都心核・地域核形成		凡	例
			都心核
			都市的活動核
			歴史・水・緑核
			地域核
			地域活動ゾーン

産業拠点形成		凡	例
			産業拠点

緑・アメニティ拠点形成		凡	例
			水・緑拠点
			緑拠点
			水・緑ゾーン
			緑ゾーン

みんなで将来のまちをつくろう！

子ども・子育て



子どもが健やかに成長でき、子育ての楽しさを感じられるまち

	施策	取組施策
1	少子化対策の推進	1 総合的な少子化対策の推進 2 結婚に対する取組支援 3 母子保健・小児医療等の充実 4 多子世帯への支援 5 若者や女性のしごと支援
2	児童福祉の推進	1 子育て支援の推進 2 子育て家庭への支援体制の充実 3 地域の支援体制の充実 4 養育環境に配慮した取組の推進 5 障害児施策の充実
3	幼児期の教育・保育と学童保育の充実	1 幼児教育の支援 2 保育の充実 3 学童保育の充実
4	青少年健全育成の推進	1 社会参加の促進 2 命を尊ぶ意識の醸成 3 非行防止活動の推進及び青少年相談の普及 4 青少年施設の充実



福祉・保健・医療



住み慣れた地域で、一人ひとりが健康でいきいきと安心して暮らせるまち

	施策	取組施策
5	高齢者福祉の推進	1 地域包括ケアシステムの構築 2 生きがいづくりの充実 3 介護予防・生活支援の推進 ほか
6	障害者福祉の推進	1 差別解消及び権利擁護の推進 2 保健・医療サービスの充実 3 早期療育の充実及び生涯にわたる学習機会の充実 ほか
7	地域福祉の推進	1 地域福祉の意識づくり 2 地域福祉を担う人材の育成 3 ふれあい・支え合い・助け合いのしくみの構築 ほか
8	社会保障の適正運営	1 国民健康保険制度の健全な運営 2 後期高齢者医療制度の円滑な運用 3 国民年金制度の啓発 ほか
9	健康づくりの推進	1 健康づくりの支援 2 特定健康診査等の実施 3 がん検診等の実施と受診勧奨
10	保健衛生・医療体制の充実	1 精神保健対策の推進 2 感染症予防対策の推進 3 地域医療体制の整備・充実 4 食の安全・衛生的な住環境の確保



教育・文化・スポーツ



歴史と文化を感じながら学びあい、豊かな心を育むまち

	施策	取組施策
11	生涯学習活動の推進	1 生涯学習を推進する体制の充実 2 家庭や地域の教育力向上 ほか
12	生きる力を育む教育の推進	1 確かな学力の育成 2 学校課題に応じた学校支援の推進 ほか
13	教育環境の整備・充実	1 教職員の資質向上 2 学校施設の整備・充実 ほか
14	文化芸術活動の充実	1 文化芸術の振興 2 文化芸術に触れる機会づくり ほか
15	文化財の保存・活用	1 文化財の保存と活用 2 無形民俗文化財の保存と後継者の育成 ほか
16	多文化共生と国際交流・協力の推進	1 外国籍市民への支援の充実 2 国際感覚に優れた市民の育成 ほか
17	生涯スポーツの推進	1 総合型地域スポーツクラブの設置・育成 2 スポーツ大会やスポーツ教室等の充実 ほか



都市基盤・生活基盤



安全で快適な基盤を備え、歴史や自然と調和した魅力あるまち

	施策	取組施策
18	協働による計画的なまちづくりの推進	1 計画的なまちづくりの推進 2 新たな拠点の整備 ほか
19	市街地整備の推進	1 三駅連携強化の推進 2 川越駅西口周辺地区整備の推進 ほか
20	景観まちづくりの推進	1 歴史的景観の形成 2 都市デザインの推進 ほか
21	道路交通体系の整備	1 都市計画道路や広域幹線道路の整備 2 幹線道路や生活道路の整備 ほか
22	交通ネットワークの充実	1 交通円滑化方策の推進 2 地域公共交通網の充実 ほか
23	治水事業の推進	1 流域対策の推進 2 河川整備等の推進 ほか
24	水道水の安定供給	1 効率的な水道事業の推進 2 水道施設の改修・更新 ほか
25	公共下水道事業の充実	1 効率的な下水道事業の推進 2 下水道施設の整備等
26	公園・緑地の充実	1 身近な公園の整備 2 大規模な公園の整備 ほか
27	良好な住環境の創出	1 住宅政策の推進 2 空き家対策の推進 ほか



産業・観光



地域資源をいかした、にぎわいと活力にあふれるまち

	施策	取組施策
28	産業間の連携と中小企業支援	<ol style="list-style-type: none"> 1 産業間連携の推進と地域経済の振興 2 中小企業への支援の充実 3 創業支援の充実
29	就労の支援と労働環境の改善	<ol style="list-style-type: none"> 1 就労の支援 2 労働環境の改善 3 勤労者福祉制度の充実・促進 ほか
30	農業の振興	<ol style="list-style-type: none"> 1 食料の安定供給と地産地消の推進 2 農産物のブランド化の推進 3 担い手の育成・確保の推進 ほか
31	商業の振興	<ol style="list-style-type: none"> 1 商店街への支援 2 中心市街地の活性化 3 商業の発展と商業団体等への支援
32	工業の振興	<ol style="list-style-type: none"> 1 企業・工業団体等への支援 2 企業誘致の推進 3 広域的産学公ネットワークの推進
33	観光の振興	<ol style="list-style-type: none"> 1 戦略的な観光事業の推進 2 外国人観光客の誘致 3 観光環境の整備 ほか



環境



地球環境にやさしい、豊かな自然とともに生きるまち

	施策	取組施策
34	環境活動の推進	<ol style="list-style-type: none"> 1 環境教育・環境学習の推進 2 環境活動団体等への支援 3 環境活動を実践する人材の育成・支援
35	地球温暖化対策の推進	<ol style="list-style-type: none"> 1 環境マネジメントシステムの推進 2 省エネルギーの推進 3 再生可能エネルギー等の導入促進 4 その他の地球温暖化対策の推進
36	循環型社会の構築	<ol style="list-style-type: none"> 1 ごみの発生・排出抑制、分別の徹底 2 循環利用の推進 3 一般廃棄物の適正処理 4 産業廃棄物の適正処理
37	自然共生の推進	<ol style="list-style-type: none"> 1 樹林地の保全と活用 2 緑の創出 3 水辺環境の保全 4 生物多様性の保全
38	生活環境の保全	<ol style="list-style-type: none"> 1 大気環境対策 2 水・土壌環境対策 3 騒音・振動・悪臭対策 4 化学物質等の環境リスク対策の推進



地域社会・市民生活



地域で支え合う、安全で安心なまち

	施策	取組施策
39	地域コミュニティ活動の推進	1 地域コミュニティ意識の形成 2 地域コミュニティ活動の支援 ほか
40	平和で思いやりのある社会づくり	1 平和意識の高揚 2 人権施策の推進
41	男女共同参画の推進	1 人権の尊重と男女共同参画への意識づくり 2 ワーク・ライフ・バランスの促進 ほか
42	防災体制の整備	1 災害応急体制の充実 2 防災意識の普及・高揚 ほか
43	消防・救急体制の充実	1 初動消防力の強化 2 救急業務体制の整備 ほか
44	防犯対策の推進	1 防犯推進体制の整備・充実 2 安全な地域コミュニティの推進 ほか
45	交通安全対策の推進	1 交通安全意識の啓発 2 交通安全施設の整備 ほか
46	市民生活の支援	1 市民相談の充実 2 消費生活支援体制の充実 ほか



住民自治・行財政運営

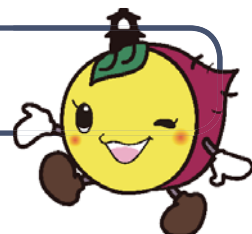


つながりによるまちづくりと持続可能な行財政運営の推進

	施策	取組施策
47	住民自治の推進	1 市民参加のしくみづくり 2 地域内分権の推進 3 多様な主体との協働・ネットワークの充実 ほか
48	行政経営マネジメントの推進	1 成果を重視したマネジメントサイクルの推進 2 計画的な財政運営と財源の確保 3 行政改革の推進 ほか
49	社会資本マネジメントの推進	1 効率的な社会資本整備の推進 2 公共施設の適正配置 3 情報の一元化と利活用
50	情報化施策の推進	1 ICT 利活用による利便性の向上 2 政策決定の効率化 3 情報通信基盤の適正化
51	広域的な連携の推進	1 関係自治体との連携の推進 2 レインボー協議会の各種事業の推進 3 中核市及び業務核都市間の連携
52	時勢に応じた施策の推進	1 東京オリンピックのゴルフ競技の円滑な運営 2 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした地域の活性化 3 シティセールスの推進



川越のまちの未来を描こう！



～市民の意見から～

子ども・子育て

子どもが健やかに成長でき、
子育ての楽しさを
感じられるまち



- ▶ 子どもを快く受け入れることのできる雰囲気
のまちになってほしい
- ▶ 親子で遊べる場所が
いっぱいほしい
- ▶ 学童保育の充実が必
要ね

福祉・保健・医療

住み慣れた地域で、
一人ひとりが健康でいきいきと
安心して暮らせるまち



- ▶ 高齢者が外出しやすく、
いきいきと生活できる
ような取組が必要ね
- ▶ 仕事と介護の両立がで
きるといいな
- ▶ 障害のある人が生活し
やすい環境づくりが必
要ね

教育・文化・スポーツ

歴史と文化を感じながら学びあい、
豊かな心を育むまち



- ▶ 英語教育に力を入れて
ほしいな
- ▶ 芸術活動を発表できる
場が充実するといいな
- ▶ オリンピックを機にス
ポーツのまちづくりを
進めてほしい

都市基盤・生活基盤

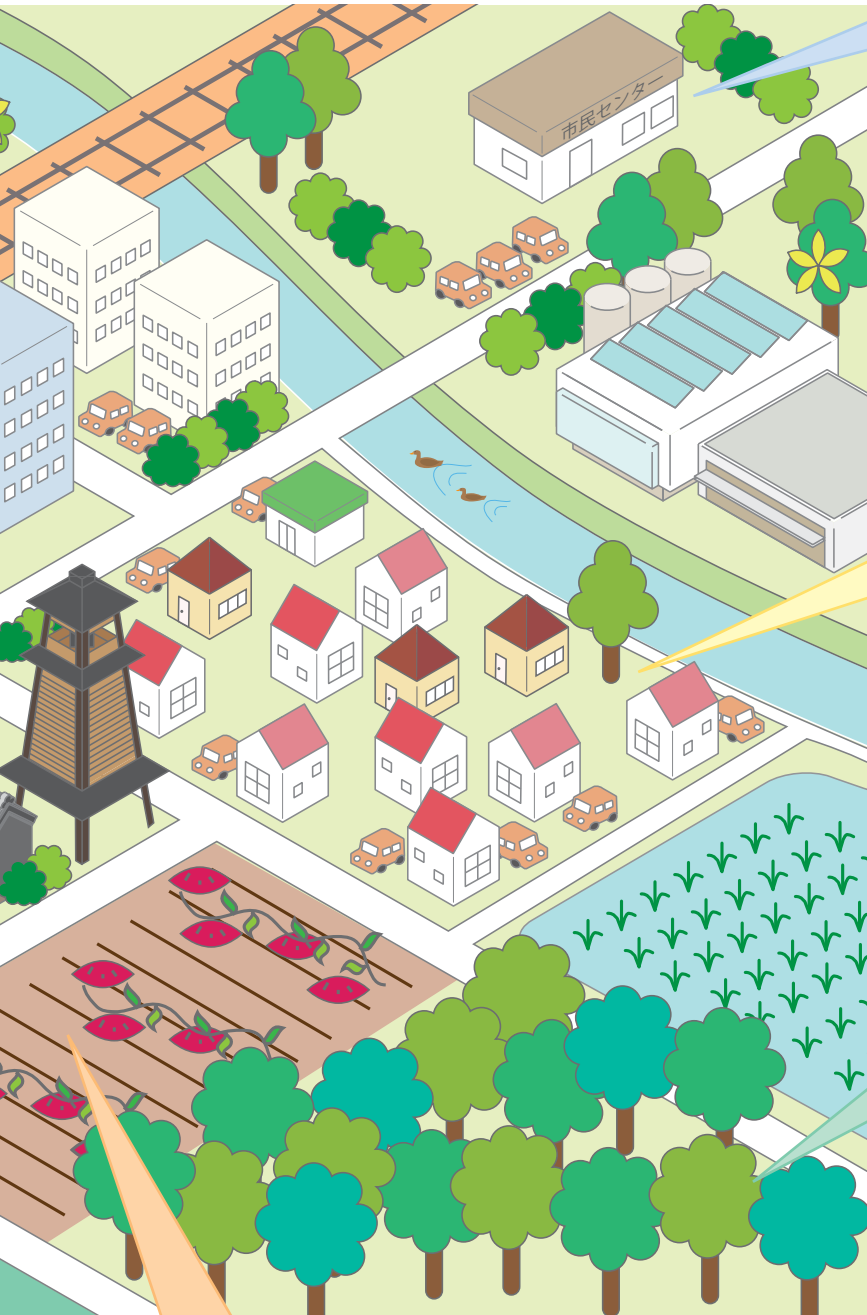
安全で快適な基盤を備え、
歴史や自然と調和した
魅力あるまち



- ▶ 安心して歩ける歩道
を整備してほしいな
- ▶ 川越にプレーパーク
があるといいな
- ▶ 空き家、空き店舗の
有効活用ができない
かな



人がつながり、魅力があふれ、 だれもが住み続けたいまち 川越



住民自治・行財政運営

つながりによるまちづくりと
持続可能な行財政運営の推進

- 情報提供をもっと充実してほしいな
- 市民の声を聴くさまざまな機会をつくってほしい
- 市の財政収支の改善が必要だ



地域社会・市民生活

地域で支え合う、
安全で安心なまち

- 人とのコミュニケーションを大事にしたいね
- 自治会加入者を増やしたい
- 災害時の情報伝達がうまくいくようにしたい



環境

地球環境にやさしい、
豊かな自然とともに生きるまち

- 川がもっときれいになるといいな
- 地球温暖化対策を進めよう
- リサイクルの意識をみんなが持つといいな



産業・観光

地域資源をいかした、
にぎわいと活力にあふれるまち

- 川越に住んで、川越で働く、
そんなまちになってほしい
- 食の地産地消が大事だよ
- だれでも一緒に楽しめる川越まつりになるといいな



市民参加の取組

第四次川越市総合計画の策定に当たっては、市民の意見を反映することや市政への市民参加を進めるため、ワークショップやインタビューなどの手法により積極的な市民参加を行いました。

1 川越みらい会議

無作為抽出した18歳以上の市民に参加を募り、6日間にわたり「市が力を入れるべき取組」等について話し合いを行いました。参加人数173人（延べ参加人数、各回27～31人）。



2 カテゴリー別意見聴取

川越みらい会議やエリアインタビューで把握することが難しい市民の声を聴けるよう、在勤・在学者や大学生、外国籍市民など、カテゴリー別の意見聴取を行いました。

まちかどインタビュー 参加人数：908人	在勤・在学者等を対象に、「住み続けたいまち（住んでみたいまち）になるために必要な施策」について駅前での聞き取り調査を行いました。
女性限定！おしゃべりカフェ 参加人数：11人	20代～40代の女性を対象に、「住み続けたいまちになるために」をテーマに話し合いを行いました。
大学生インタビュー 参加人数：77人	市内4大学の学生を対象に将来の川越に向けた話し合いを行いました。
若者ワークショップ 参加人数：23人	若者を対象に、「住み続けたいまち（住んでみたいまち）」をテーマに話し合いを行いました。
外国籍市民インタビュー 参加人数：131人（16か国）	日本語教室の学習者や留学生などを対象に、「外国籍市民から見た住みやすいまちづくり」をテーマに聞き取り調査等を行いました。



3 エリアインタビュー

市内全17公民館で市民を対象に「市が力を入れるべき取組」等について話し合いを行いました。参加人数591人（延べ参加人数）。



第四次川越市総合計画 概要版

(基本構想、前期基本計画)

平成28(2016)年3月

発行 川越市 政策企画課

〒350-8601 埼玉県川越市元町1丁目3番地1

TEL 049-224-8811 (大代表) 049-224-5503 (直通)

FAX 049-225-2895

E-mail seisakukikaku@city.kawagoe.saitama.jp

